



## 環境方針

当社は、地球環境と自然保全に努め、より安全な製品を提供し続けて『環境のカンボウ』を目指します。

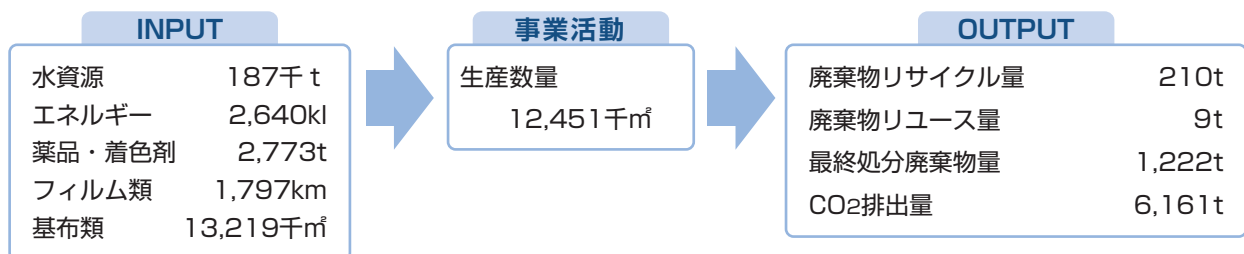
### 『環境基本方針』

当社は産業資材、工業資材、生活資材及びその他の樹脂加工繊維製品の生産を中心とした企業活動において、環境負荷の低減を目指し、以下の方針に則って行動します。

1. 当社は、地域社会と協調し、対話を大切に、環境管理活動を通じて社会に貢献します。
2. 当社の事業活動において、省資源、廃棄物の削減、環境負荷物質の管理を行い、汚染の予防を含めた、より良い環境の維持、向上に取り組みます。
3. 定期的な内部環境監査の実施により、環境管理活動の実施状況と結果を確認し、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。
4. 当社の事業活動に関係する環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守します。
5. 当社の事業活動にかかわる環境側面について、環境目的及び目標を設定します。また、環境目的及び目標は、環境方針と共に、年一回見直しを行います。
6. 環境方針は、環境方針書として文書化し、環境マネジメントシステムにより実行、維持します。
7. 環境方針は、全従業員に周知認識し、方針に則って行動するように、全従業員に対する教育、訓練を実施します。

本環境方針は、インターネットを含めすべての人に公表します。

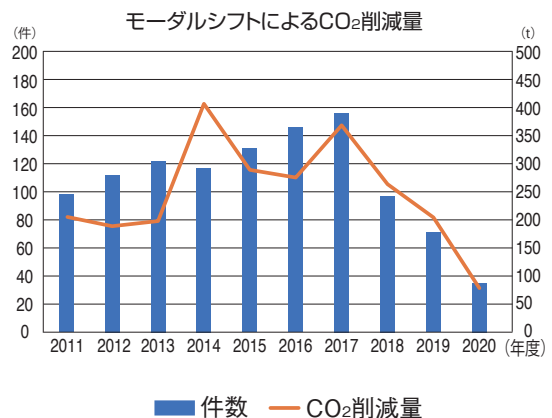
## 事業活動における環境負荷(福井工場)



## 地球温暖化防止への取り組み

トラック輸送よりCO<sub>2</sub>排出量が少ないJRコンテナを利用したモーダルシフトを実施していますが、昨今、1回あたりの出荷量減によりコンテナ利用可能数に達するケースが少なくなりCO<sub>2</sub>削減量も減少しています。

2020年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延にともない物流活動も停滞気味となり、さらに減少する結果となりました。少ない機会の中でもモーダルシフトの活動は継続して実施していきます。





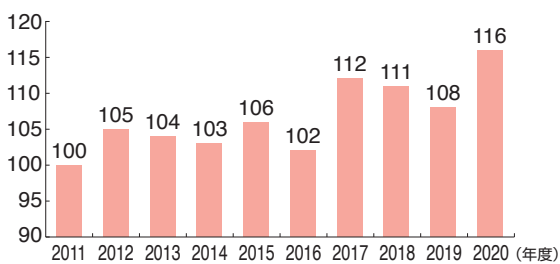
## エネルギー消費量とCO<sub>2</sub>排出量

排煙処理装置のプロセスファン、暑熱対策冷風装置の給気ファンにインバーターを設置したり、生産設備の照明をLED蛍光灯へ変更更新したりと省エネルギー化を図りましたが、2020年度新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴う経済活動の減退により弊社も大きな減産調整を実施したため、生産量に応じたエネルギー消費量の比較指数は大幅に悪化しました。

今後もインバーターなどの省エネ設備導入を進めていき、再生エネルギー、燃料転換などの情報収集・調査・研究を進めていきます。

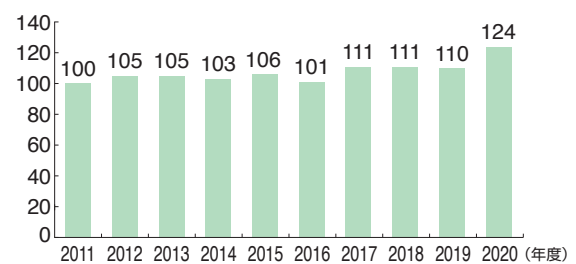
### エネルギー消費量原単位推移

(注) 2011年度を100とした場合の指数表示となっています。



### CO<sub>2</sub>排出量原単位推移

(注) 2011年度を100とした場合の指数表示となっています。

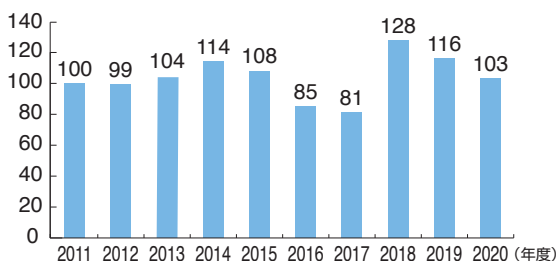


## 廃棄物削減への取り組み

昨年度に比べ生産数量の減少に伴い、最終処分廃棄物量・リサイクル・リユース量が減少しています。より細かな紙ごみ分別回収（リサイクル）など取り組んできましたが、まだ埋立処理などの排出物が多く、廃棄物再生によるリユース化への取り組みを推進していきます。

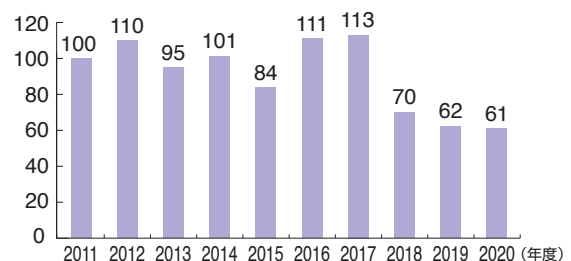
### 最終処分廃棄物量推移

(注) 2011年度を100とした場合の指数表示となっています。



### リサイクル・リユース量推移

(注) 2011年度を100とした場合の指数表示となっています。



## PRTR法への対応

PRTR制度では第一種指定化学物質の環境へ排出される量（排出量）及び対象物質を含む廃棄物が事業所外へ移動される量（移動量）について届け出ることになっています。

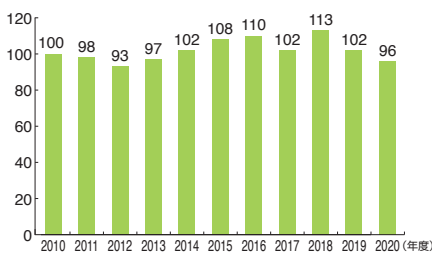
2020年度のPRTR対象物質の取扱量は指数換算で前年度より約6%減少しました。これはPRTR対象物質の一つである可塑剤フタル酸ビス（2-エチルヘシキル）の使用の置き換えが進んだためです。2021年度も引き続き置き換えを進め、最終的には全廃する計画です。

一方、PRTR対象物質の取扱量は減少しましたが、移動量は増加しています。

これは、生産量に対しての廃棄物量の指数が大きくなっているため、急激な減産調整が影響しています。廃棄物削減の活動についても引き続き実施していきます。

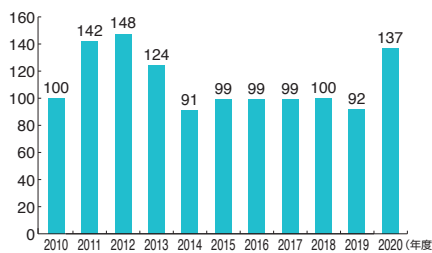
PRTR対象物質取扱量推移

(注) 2010年度を100とした場合の指数表示となっています。



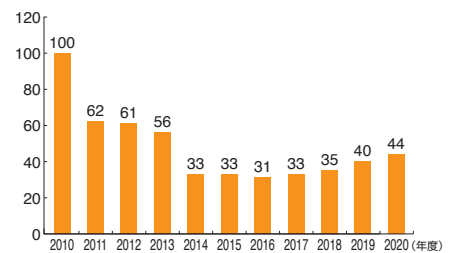
PRTR対象物質移動量推移

(注) 2010年度を100とした場合の指数表示となっています。



PRTR対象物質排出量推移

(注) 2010年度を100とした場合の指数表示となっています。



## 環境負荷低減製品開発への取り組み

お客様からの環境配慮の要望は、新製品のみならず、これまで提供した製品の仕様変更といった形で増えています。さまざまな要望に合わせて、使用する材料の変更を進めるとともに、安全安心の観点からグリーン材料での製品設計も進めています。

## グリーン推進活動

2020年度も「第11回ニチバン巻心ECOプロジェクト」に参加し、感謝状をいただきました。

また、ペットボトル キャップの回収を行い、特定非営利活動法人エコ・ワクチン協会を協賛して、プラスチックとして再利用することによって得た利益をワクチン購入代金として支援する活動（エコキャップ回収運動）にも参加しています。今後も継続して活動を行ってまいります。



カンボウプラスは事業所周辺の美化活動を継続的に実施しています。2020年度は、「大阪市一斉清掃“クリーンUP”作戦」に参加し、空き缶や吸い殻などのゴミ拾いを行いました。

